

# 令和5年度自己評価・学校関係者報告書

学校法人つくし野学園 白百合幼稚園

## 1. 教育目標

「 私たちは 神さまの子ども 兄弟姉妹です。

いのちを大切に ゆるしあえる人 になりましょう 」

## 2. 令和5年度年間目標

小組：教師や友だちと信頼関係を築き一緒に生活する楽しさを知る。

中組：友達や教師との関りを深め想いや考えを言葉で伝えたり相手の気持ちを考えたりしながら認め合う。

大組：年長としての自覚をもち、見通しをもって過ごす。

## 3. 保護者 学校評価アンケート結果

23年度幼稚園教育アンケート集計結果

	質 問 項 目	総得点
1	園目標をご存知ですか	92
2	幼稚園の教育は園目標と一致していると思いますか	95
3	幼稚園の教育は毎月の「保育案」に沿っていると思いますか	91
4	幼稚園教育を通して神様の愛を身近に感じていると思いますか	87
5	お子さまのモンテッソーリ教育の活動について十分だと思えますか	88
6	本園の教育活動全般に満足されていますか	96
7	教職員は熱心に教育に取り組んでいると思いますか	98
8	教職員同士のチームワークは取れていると思いますか	96
9	教職員は園児一人ひとりの性格や特性に配慮した指導を行っていますか	95
10	教職員は保護者からの相談や連絡事項に丁寧に応じていると思いますか	97
11	幼稚園で起きた事故・怪我などについて責任を持って対応していると思いますか	98
12	教職員の電話や来客などへの対応は適切だと思えますか	99
13	遊具・施設設備は子どもに適していると思いますか	91
14	安全指導・安全管理は適切だと思えますか	96
15	お子さまは幼稚園に楽しんで通っていますか	96
16	お子さまは幼稚園教育を通して確実に成長されていると思いますか	97
17	子ども同士の好ましい人間関係が構築されていると思いますか	94
18	懇談会・保育参観・面接は有効な時間になっていると思いますか	92
19	園だより・園長便り・ブログ・掲示板などの情報は十分だと思えますか	90
20	「こすもす」(預かりクラス)を利用したことがありますか	76
21	正課の体操指導があることについてどう思いますか	98
22	正課の英語指導があることについてどう思いますか	95

※保護者アンケートでは、保護者からの信頼に関しては、一定の評価をさせていただいているが、「幼稚園教育を通して神さまの愛を身近に感じていますか」という問いが少し低いので、月に一度の聖堂朝礼などを通して子どもたちが神さまに見守られていることを伝えていきたい。

#### 4. 職員 評価項目の達成状況

「学校評価・教職員個別調査」の中から「教育創りのに関する質問項目」の集計結果（抜粋）

教育創りに関する質問項目	23年度	22年度
教育理念や基本方針が明文化され、周知されているか	88	91
教育課程・指導計画が作成されているか	89	95
組織的な仕事が行なわれているか	74	82
幼稚園教育要領をふまえて日々の保育を行なっているか	92	90
教職員間で子どもの共通理解・発達の確認が行なわれているか	92	97
教職員間で諸会議が適切に行なわれているか	70	98
指導計画の立案・確認が行われているか	92	97
指導計画の立案・確認が行われているか	92	95
子どもとの信頼関係の確保に努めているか	97	98
日常保育のための環境構成を適切に行っているか	97	88
子どもの様子を評価・反省し保育に生かしているか	97	90
日常の保育が適切に記録し活用されているか	87	90
子どもへの共通理解が行われているか	92	92
保護者理解と個別対応が行なわれているか	92	93

※教員の評価をみていくと「組織的な仕事が行なわれているか」「教職員間で諸会議が適切におこなわれているか」の結果が低い。この点に関しては、会議において共通理解をもち、日々の幼稚園活動・保育に取り組むようにしていきたい。

#### 5. 外部講師の活用

現在白百合幼稚園では、正課の活動に「体操指導」と「英語レッスン」の時間を設け、この時間については、外部より専門講師を依頼し学年にあったカリキュラムで指導を受けている。

在園児の体操に対する取り組み姿勢は前向きで、保護者からの評判も高い。また同社が本園で主催する課外教室への保護者の評判が高く、正課の体操指導に併せて白百合の子どもたちの「体操」の質的向上が実感できている。

英語レッスンについては、「外国の方との交流」という目標でレッスンを受けることで、子どもたちも喜んで参加している。体操指導や英語レッスンは、他園でも積極的に取り入れることで、今後の幼稚園教育の中では必要不可欠な要素になっています。今後も委託会社とも協力しながら質的向上を図りたい。

#### 6. 評価結果まとめと課題

##### (1) 「神さまの愛を身近に感じることができるように」

カトリック幼稚園として、友だちや先生と過ごす中で、感謝することや人を思いやることを日々感じ表現できるようにしていきたい。

月に一度の聖堂朝礼を通してお祈りの意味を子どもたちに伝えるようにしていきたい。

##### (2) 「モンテッソーリ教育について」

白百合幼稚園の志望理由に「モンテッソーリ教育を取り入れている」ということが非常に多い。

園児募集としても、今後、白百合幼稚園でのモンテッソーリ教育の在り方を考えモンテッソーリ教育を通して自主的で集中できる活動に取り組み、落ち着いて行動できることを目標としたい。

その上で、『バランスの取れた“モンテッソーリ教育と集合保育の融合”』をアピールしていきたいと思う。

## 7. 2023 年度学校関係者評議委員会 報告書

○園自己評価は適切になされているか  
適切になされている。

○今後取り組むべき課題は適切に設定されているか  
適正に設定されている。

○期待すること  
職員間の情報の共有化・透明性を意識した運営を行っていくこと。  
様々な保護者のニーズを理解していくこと。

○体操教育  
家庭・近所で遊ぶことが難しく、子どもの筋力低下が心配されるなか専門家から上手な体の使い方を学び  
友だちと一緒に楽しみながら幼稚園で体操教育をうけることができることは有意義である。

○英語教育  
海外の方と接する機会も増えている。英語を通じて異文化を知るきっかけをネイティブの先生との学びの中  
で得られることは有意義である。

○その他  
神さまの愛を身近に感じることができているかは、すぐに目に見えるものではないが、幼稚園で得たものは  
子どもたちの心に染み込んでいるはずである。」これまでの教育を続けて行ってほしい。

# 令和5年度 専門指導員による体操指導 報告書

学校法人つくし野学園 白百合幼稚園

- 【ねらい】 年少：からだを動かすことを楽しみ、ルールを守りながら様々種目を経験し進んで運動に参加する  
 年中：いろいろな運動を通じて基礎体力を養い、それぞれの種目・運動への意欲を高める  
 年長：自分で達成目標を立て、最後まで努力する心を育み、運動能力を向上する  
 組み立て体操、リレーを経験することで友だちと協力し、互いに助け合うことを学ぶ

## 【体操指導概要】

専門指導員による指導	2名の体操専門指導員が担当する。 1名が全体への指導を行い、もう1名がより円滑に活動が進むよう個々への声掛け・補助を行う
分かりやすく丁寧な指導	各種目への取り組みに於いて、遊びのように感じる導入をすることで子どもたちの興味を引き、恐怖心なく取り組むことができるようにする 動きの説明・注意点などは、ゆっくり大きく動いて見せることによって印象付ける
自分と友だちの安全のため、ルール守る大切さを伝える	体操は油断するとケガにもつながるため、守るべきルールは徹底する ゲームを用いて人との距離の取り方などを伝える
指導員の雰囲気・指導力	保育のスキルももつ指導員が、声の強弱、視線の使い方、途切れない指導により、子どもにとってはあっという間に時間が過ぎたように感じられるようにする

指導曜日		指導時間	対象学年	場所	取り組み内容
火曜日	正課	9:50~10:15	年中(1クラス)	ホール	年間34回、専門指導員による体操指導を学年別に行っている
		10:15~10:50	年中(2クラス)		
		10:50~11:25	年長(2クラス)		
		11:25~11:50	年長(1クラス)		
	課外	14:20~15:20	年中		園児・卒園児(小学生)の希望者を対象としたスキルアップスポーツクラブを行っている
		15:20~16:20	年長		
16:20~17:20		卒園児(小学生)			
水曜日	正課	9:50~10:20	年少(1クラス)	年間30回、専門指導員による体操指導を学年別に行っている	
		10:20~10:50	年少(1クラス)		
金曜日	課外	14:20~15:20	年中	園児・卒園児(小学生)の希望者を対象としたスキルアップスポーツクラブを行っている	
		15:20~16:20	年長		
		16:20~17:20	卒園児(小学生)		

※全学年予定通りの日程で指導を実施終了

## 【取り組みと成果】

### ① 挨拶と返事をする事の大切さを指導

全学年、“指導員の目を見る・適切な声量を心掛ける・お辞儀をきちんとする・ふざけない”ことを子どもたち自身が意識して挨拶ができるように指導開始前の時間も大切にしている。毎回の指導でこの点をきちんとおさえ、繰り返すことによって、年少児も1学期の後半くらいからはほとんどの子が挨拶をする事の大切さを理解し、正しく挨拶や返事をする事ができるようになっている。

### ② 学年ごと、学期ごとの達成目標（ねらい）設定と達成に向けた計画的指導

年少は、まずはからだを動かすことの楽しさを存分に経験できるように、手遊びや歌などの保育スキルを活かした指導を行っている。前転をする時にも「前回りをします」ではなく、前転をするためのプロセスを、一つずつ丁寧に経験させてから回ることにつなげていくといった工夫をしているため、子どもたちは恐怖感なく各種目を経験することができる。

今年度の年少児は、1学期から積極的に落ち着いて体操に参加できていたため、自分だけでなく周りに合わせた動きが取れるよう早くから指導できた結果、3学期には鬼ごっこなどのゲームもルールをしっかりと理解し楽しめるようになった。

年中は、年少で経験した基本的なスキルをより安定させ向上させること、また、自ら積極的に体操に参加する姿勢を育むよう心掛けている。同じ種目でも、年少時は新しい種目に挑戦してやることを重視するため完成度としてはまだまだなどところがあるが、年中では指導員の手本をよく見て自分もしてみるということが大切になる。指導員が年少の時と同様に、ゆっくり丁寧に動きを見せることを意識した指導を行うことによって、年少時よりも各種目の完成度が上がっている。4月には、体操への参加をしぶっていた園児も数名みられたが、1年かけて上記のような指導を繰り返したことにより、3学期には、全員が元気な姿で指導を受けられるようになっていた。

年長は、個々の種目については自分で達成目標を決めながらスキルの向上を目指して毎回の体操に臨んでいた。また、運動会の『組み立て体操』『クラス対抗リレー』への参加によって、学年・クラスが団結して一つのことを成し遂げるためにひとりひとりが自分のスキルを磨くだけでなく、時には友だちと「こうしたらうまく技が決まるのでは」「速く走るためにはどうしたらいいか」などを話し合い、共に高みを目指す力が育まれていたことが大きな成長と言える。

また、個人個人の取り組みに関しても、「なぜできなかったか」「どこがわるかったのか」など、自分自身で考えたり、友だちに相談するなど、向上心が育ってきていることが感じられた。

### ③ メリハリのある指導法

技を練習する時にはケガのないように指導員も真剣に話し、みんな楽しく動くことを目的としたゲームなどでは、指導員も子どもと一緒に存分に楽しむといった、指導の仕方に明確な違いがあるため、子どもたちも「今はきちんとすべき時」「今は思い切り楽しんでよい時」を理解しやすい。また、子どもの言葉遣いや態度に対する指導に関しても、通常の保育の中で教師が指導している『お約束』との矛盾がなく、接し方も一貫しているため、子どもたちのなかに“けじめ”が年々確実に育っていることを感じる。

#### ④ 保護者の体操参観日の設定

体操参観日を設けることで、課外のスポーツクラブに参加していない保護者の方にも指導員と子どもたちの触れ合い方を見ていただいた。担任と過ごしている時とはまた一味違う子どもたちの表情やどのように技の向上がなされているのかを見ていただくことで、保護者の理解・関心が深まっている。

#### 【まとめ】

正課体操指導委託業者による専門家の体操指導は、子どもにも保護者にもとても評判がよく、毎回の指導を心待ちにする姿が見られる。

保育スキルも持つ指導員が担当しているため、説明の際の言葉の選び方、目線の使い方、手本を見せる時の動作の速さなどが子どもたちにとっても受け入れやすく、分かりやすいようである。子どもをうまく惹きつけることができるからこそ、効果的な運動能力の向上を図ることができているように感じる。

基本的には集団への声掛けで進行していくが、2人体制であることで、集中力が続かない子どもや集団の動きから外れてしまいやすい子どものフォローも手厚くできるため、全員が『体操の時間』を楽しむことができおり、一人一人がその子なりのスキルアップを1年間で遂げている。また、【取り組みと成果】でも述べた通り、学年ごとの明確な目標設定とメリハリのある指導法により、体操能力だけでなく、心の成長にも大きく良い影響が見られることも特記すべき事項と言える。また、子供たちにとって、3年間一貫した指導を受けることにより、直ぐに成果がでなくてもあきらめずに続けていくことを学び、それによって達成感を感じることでできる大切な機会となっていることを実感する。

さらに、園の教職員と情報共有をこまめに行うことで、子どもにとっても通常の園生活と体操の時間で切れ目のない活動となっており、相乗効果が生まれている。